

## 進展するルーマニアの道路インフラ整備

ブカレスト事務所・欧州ロシアC I S課

ルーマニアの道路インフラ整備が進んでいる。周辺国と国内の主要都市を結ぶ幹線道路（欧州自動車道路）の整備はほぼ完了し、高速道路の新規開通区間が徐々に増加している。政府等の計画通りプロジェクトが進めば、2013 年末までに高速道路の総延長（都市の環状線を含む）は 800 キロに達する見込み。プロジェクトの進捗には、2012 年秋の総選挙を控えて流動的な政局や、緊縮財政による歳出削減が影響することも考えられる。

### 目 次

1. 国道の状況が改善..... 2
2. 高速道路建設が進展し新区間が開通..... 4
3. コリドーⅣのトラフィック増加はドナウ第 2 架橋完成後..... 7
4. 2013 年まで、さらに 400 キロの高速道路建設計画..... 9
5. 道路インフラのハード、ソフト両面の環境向上が重要..... 11

#### 【免責条項】

ジェットロは本レポートの記載内容に関して生じた直接的、間接的損害及び利益の喪失については一切の責任を負いません。  
これは、たとえジェットロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。  
本レポートの無断転載を禁じます。

## 1. 国道の状況が改善

国外では依然としてルーマニアの道路インフラが悪いというイメージが残っているようだが、2007年のEU加盟後は全国的に道路整備が行われ、主要幹線道路の舗装状況が改善している。近年、ルーマニアで最も目に見える成果があったインフラ整備は国道（National Road、ルーマニア語：Drumuri Nationale、略称DN）、特に欧州自動車道路と重なる区間のリハビリだ。政府は現在も、道路インフラ整備を最優先事項のひとつとしている。



ブカレスト～プロイエシュティ間 国道1号線（2011年撮影）



ブラショフ～シビウ間 国道1号線（2011年撮影）

国内の主要都市を結び、ルーマニアからハンガリー、ブルガリアなど近隣の EU 加盟国方面への国際貨物輸送に利用される幹線道路の舗装状況は、ここ数年で走行に支障を来たすような道路上の陥没、亀裂が見られないレベルになった。

幹線道路以外の補修も 2011 年から急速に進んでおり、国際貨物輸送にあまり利用されない区間を中心に 2013 年までに国道約 2,300 キロの補修、改良が行われる予定だ。



フネドアラ県の国道 7 号線（2011 年撮影）



フネドアラ県の国道 7 号線 トラック輸送の様子（2011 年撮影）

当地日系製造業関係者はジェトロ・ブカレスト事務所（余田知弘所長）のインタビューに対し「（高速道路よりも時間がかかるが）幹線道路（国道）の舗装状況は国際水準にあり、トラック輸送で大きな支障は無い。」と評価している。

## 2. 高速道路建設が進展し新区間が開通

近年、高速道路建設状況に目立って進捗がみられるようになった。1989年から2003年まで高速道路の総延長は15年間変わらず131キロだったのに対し、EUに加盟した2007年末には約280キロ、2011年末には400キロに達した。

2011年12月時点の高速道路の総延長距離は、中・東欧トップのチェコ（1,181キロ）、ポーランド（1,064キロ）、ハンガリー（1,102キロ）、ブルガリア（約480キロ）に次ぐ。近隣のオーストリアは約2,200キロ、日本では約8,000キロの高速道路ネットワークが機能している。

環状線を含め2011年に開通した区間は、アラド～ティミショアラ、メドジディア～コンスタンツァ（一部開通）、コンスタンツァ市環状線（同）、アラド市環状線（同）の約70キロ。ナドラック（ハンガリー国境）とコンスタンツァを結ぶ汎欧州運輸回廊4号線（コリドーIV）の一部となるアラド～オラシュティエの各区間の建設会社も相次いで決定し、2013年内に完成する見込みだ。



A3 トランシルバニア高速道 クンピア・トゥルジ付近（2011年撮影）

現時点での高速道路ネットワーク建設計画の全体像は、次のとおり。

## ルーマニアの高速道路建設計画

高速道	区間
A1	ブカレスト～シビウ～ティミショアラ～アラド～ナドラック (ハンガリー方面へ)
A2	ブカレスト～チェルナボダ～コンスタンツァ(黒海)
A3	ブカレスト～プロイエシュティ～ブラショフ～ クルージュ・ナポカ～オラデア～ボルシュ (ハンガリー方面へ)
A4	オヴィディウ～アジジャ～マンガリア (ブルガリア方面へ)
A5	プロイエシュティ～ブゾウ～フォクシャニ～アルビツァ (モルドワ共和国方面へ)
名称未定	トウルグ・ムレシュ～トウルグ・ネアムツ～ヤシ～ウンゲニ (モルドワ共和国方面へ)
名称未定	ジユク～デジ～ビストリツァ

備考：未完成区間を含む。開通区間については、本レポート最終ページの「ルーマニア高速道路建設計画（全長約 2,200 キロ）」ルート図参照。



A3 トランシルバニア高速道 極めて良好な舗装状況（2011年撮影）

2010年に開通したA3高速道（クンピア・トゥルジ～ジラウ区間）の舗装状態、道路幅、標識の視認性などは非常に高い水準で、西欧の高速道と比較して遜色がない。

同様にA1高速道シビウ環状線も完成度が高く、写真のように高速走行に適したものである。南東欧で最大の国土面積を持つルーマニアの高速道ネットワークが完成する意義は大きい。



A1 高速道 シビウ環状線区間（2011年撮影）



A1 高速道 シビウ環状線の入口（2011年撮影）



A1 高速道 シビウ環状線区間（2011 年撮影）

### 3. コリドーⅣのトラフィック増加はドナウ第 2 架橋完成後

ドイツ、チェコ、オーストリア、スロバキア、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリア（先はギリシャとトルコに分岐）と続くコリドーⅣのルートを見ると、ルーマニア国内はハンガリー国境のナドラックからブルガリア国境のヴィディンまでの区間が「本線」となる。

このうち現在の高速道路建設計画には含まれないのが、ルゴジ〜クライオバ区間の国道 6 号線（DN6、E70）、クライオバ〜カラファト区間の国道 56 号線（DN56、E79）である。

高速道路国道公社（[CNADNR](#)）によると、コリドーⅣのルゴジ〜クライオバ〜カラファト区間（ドナウ川をはさんで対岸はブルガリアのヴィディン）の国道はリハビリ工事が完了している。コリドーⅣを構成する国道 6 号線と 56 号線の区間は 2020 年以降に高速道路になる可能性があるようだが、現時点では具体的な時期は未定だ。

欧州自動車道路 E70 のルート（ルーマニア国内は約 700 キロ）を見ると、セルビアからティミショアラ〜ドロベタ・トゥルヌ・セベリン〜クライオバ〜アレクサンドリア〜ブカレスト〜ジュルジュの順にルーマニア国内を通過しブルガリアに通じている。セルビア国境〜ティミショアラ（約 60 キロ）を除く大部分が国道 6 号線（DN6）である。E70 道路の西端はスペイン（ラ・コルーニャ）、東端はグルジア（ポチ）にあり、総延長は 4,550 キロ

(備考：ブルガリア・ヴァルナ～トルコ・サムスン間は黒海上のルート設定)。この E70 のルーマニア国内区間は、コリドーⅣと一部のルートが重なる。

このルート重複部分であるドロベタ・トゥルヌ・セベリン～クライオバ区間の舗装状況は、次の写真のように整っており、この水準の国道が全国的に増えている。



メヘディンツィ県 リハビリ工事後の国道 6 号線 (2011 年撮影)

ブルガリア北部、ルーマニア南部から西欧方面への物流（トラック輸送）において、ブルガリアとルーマニアを繋ぐ唯一の橋（第 1 架橋、ブルガリア側：ルセ、ルーマニア側：ジュルジュ）を通過し、ブカレスト～（高速道路）～ピテシュティ～クライオバ～ドロベタ・トゥルヌ・セベリン～ルゴジ～ナドラックのルートを利用するケースが増えている。

カルパチア山脈の間を抜けトランシルバニア地方のシビウを経由する代わりに、ピテシュティから南回りでクライオバ～ドロベタ・トゥルヌ・セベリンを通過するほうが、ティミショアラまでの所要時間が短いためだ。

ただし、将来的にシビウからハンガリー国境ナドラックまでの区間の高速道路が完成すれば、クライオバ経由（南回り）の代わりに、この A1 高速道の利用が増加すると考えられる。

ドナウ第 2 架橋（カラファト～ヴィディン）の完成時期が当初計画から遅れ現在も通行できないため、上記クライオバ～カラファト区間（国道 56 号線）を走行する車輛は少ないままだ。



カラファト～ヴィディン間のドナウ川を渡る自動車輸送（2011年撮影）

ルーマニア当局の発表では、ドナウ川の兩岸を結ぶ両国間の第2架橋は2012年に開通する予定。この第2架橋については2012年2月15日、ブルガリアのドンチェフ EU 基金担当相も2012年末までに完成するとの報告を欧州委員会に対して行っている。

#### 4. 2013年まで、さらに400キロの高速道路建設計画

政府が発表した「[公的基金による投資案件プログラム](#)」(PDF)によると、2012年内に開通予定の区間は、ブカレストの北60キロに位置する工業都市プロイエシュティとブカレストを結ぶ区間（62キロ）、メドジディア～コンスタンツァ区間（26キロ）、コンスタンツァ市環状線（11キロ）の約100キロ。

ブカレスト～プロイエシュティ間の建設は2区間に分けて進められている。プロイエシュティ～モアラ・ブラシエイは2011年12月に全線開通予定だったが、工事が大幅に遅れ、開通は2012年に先延ばしされた。ブカレスト～モアラ・ブラシエイは2012年10月に完成する見込みだ。計画どおりに進めば、コンスタンツァ港と2つの工業都市（プロイエシュティおよびピテシュティ）間の輸送時間は大幅に短縮されると考えられる（ブカレスト～ピテシュティ区間のA1高速道は開通済み）。

コンスタンツァ高速道（A2）のチェルナボダ～メドジディア区間は、2011年4月にボアジウ運輸・社会基盤相（当時）が建設会社（フランスのコラス）との契約を破棄し、再入札となった。その結果、2011年9月にイタリアのアスタルディとマックス・ボーグルが1

億 2,000 万ユーロで受注し、2013 年 1 月に完成する予定。全計画が予定通り進めば、2013 年には高速道路の総延長は 800 キロに到達する見込みだ。

政府は、官民連携プロジェクト（PPP）による高速道路の建設を進める方針で、優先順位が高い区間として、コマルニク～ブラショフ、シビウ～ピテシュティ（コリドーⅣ）、プロイエシュティ～ブザウ～フォクシャニ、トゥルグ・ムレシュ～ヤシ～ウングニ、ブカレスト市環状線を挙げている。上記区間の完成時期は決定していない。



A1 高速道 ピテシュティからブカレスト方面へ（2011 年撮影）

プロイエシュティ近郊では、矢崎総業、カルソニック・カンセイ、フレキシテック（三菱商事・メイジフローシステム）が自動車部品を生産している。またベルギー系企業が、鉄道とトラックによるインターモーダルコンテナターミナルの「[ユーロ・ゲート・ターミナル](#)」を建設中だ。ほか、国内では同種のプロジェクトがいくつか計画されている。

現在、コンスタンツァ港で荷揚げされたコンテナ貨物は通常トラックに積み替えられ、仕向け地へと輸送される。2012年1月から2月にかけて50年ぶりとも言われる豪雪により、一時的にブカレスト～コンスタンツァ間の除雪が不十分な状況になり（2012年第3週）道路輸送に通常よりも多くの所要時間が必要となった。このような場合、鉄道による貨物輸送が代替手段となり得る。[コンスタンツァ南港](#)には、30両編成まで入線できる3ライン（各616メートル）の線路を備えた鉄道貨物ターミナルがある。



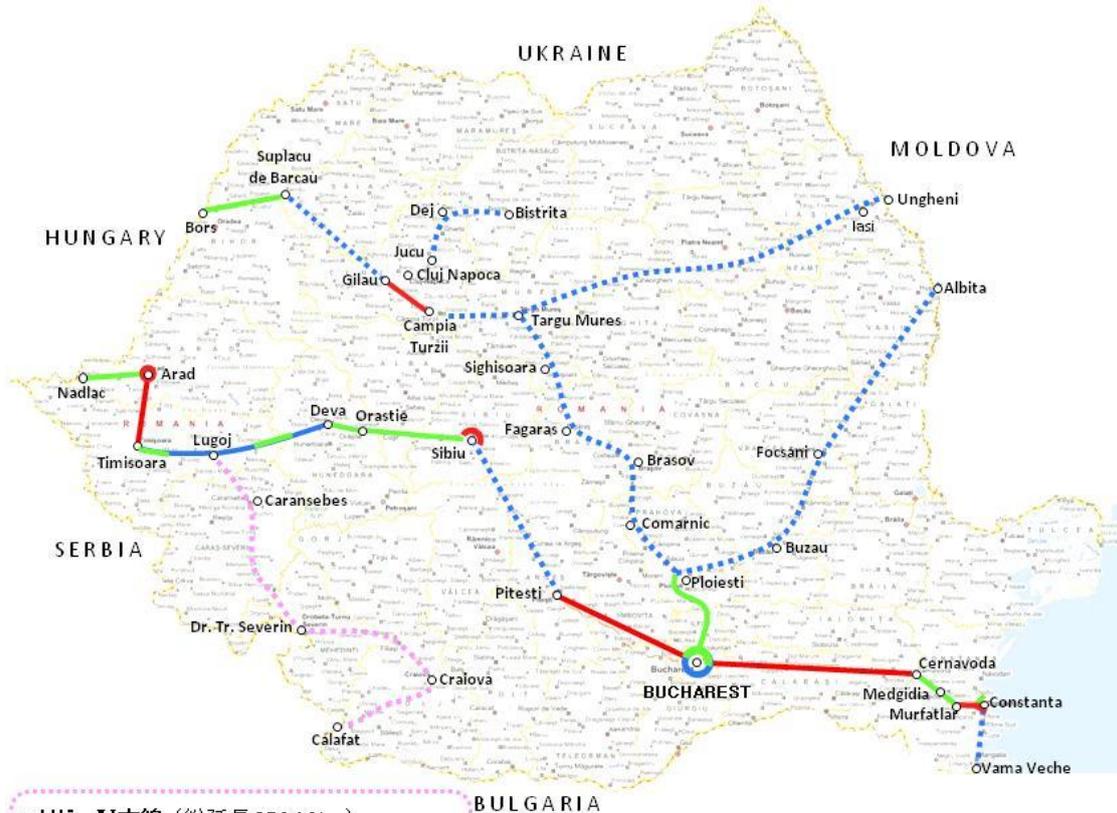
A1 高速道 アルジェシュ県ピテシュティ付近（2011年撮影）

## 5. 道路インフラのハード、ソフト両面の環境向上が重要

ルーマニアの道路インフラ整備は、着実に成果を上げている。都市中心部を避ける形で高速道路、バイパス道が整備され、大型トラックの市街地への乗り入れ規制が徹底されている点も、EUスタンダードに沿ったインフラ整備の一面と指摘できるだろう。このように道路自体のハード面のほか、インフラ周りの管理、ルール運用等も同時並行で改善していくことにより、ルーマニアの輸送インフラ全体の利用環境が向上されていくことになる。

2012年1～2月、50年ぶりと言われる豪雪がひとつの課題を浮き彫りにした。ブカレスト市内中心部の大通りの除雪は迅速に行われたが、郊外からブカレストに通じる幹線道路、高速道路の除雪が進まず通行止めとなり、首都が一時的に孤立した。また、地方都市にある工業団地内でも除雪が間に合わず、トラック輸送に支障が出たケースがあったようだ。今回の大量の降積雪は例外的なものではあったが、除雪対応が難しく経済活動、市民生活に支障が出る結果となった。ハード、ソフト両面での物流環境向上が今後も継続して望まれるところだ。

## ルーマニア高速道路建設計画（全長約 2200 キロ）



**コリドーIV本線（総延長378.26km）**  
 国道6号線（E70）ルゴジ〜クライオバ区間  
 国道56号線（E79）クライオバ〜カラファト区間

開通済みの区間	402.4 km
Campia Turzii > Gilau	52.0 km
Bucuresti > Pitesti	111.0 km
Bucuresti > Cernavoda	151.0 km
Arad > Timisoara	32.3 km
Murfatlar > Constanta	14.5 km
South section of Constanta bypass	11.7 km
Arad bypass	12.3 km
Sibiu bypass	17.6 km

現在建設中の区間 - 2012~2013年完成予定 (プロジェクト費用 - 39億3,000万ユーロ)	416.34 km
Suplacu de Barcau > Bors	64.0 km
Nadlac > Arad	38.0 km
Bucuresti > Ploiesti	62.0 km
Bucuresti bypass (North section)	52.8 km
Cernavoda > Murfatlar	37.5 km
Orastie > Deva	32.8 km
Orastie > Sibiu	82.0 km
Timisoara > Lugoj	9.5 km
Lugoj > Deva	27.4 km
North section of Constanta bypass	10.4 km

計画段階の区間	1,388.6 km
<b>2013年完成予定の区間</b> ————	
Timisoara > Lugoj	33.5 km
Lugoj > Deva	63.6 km
Bucuresti bypass (South section)	48.0 km
<b>完成日が未定の区間</b> .....	
Pitesti > Sibiu	117.0 km
Constanta > Vama Veche	53.0 km
Ploiesti > Comarnic > Brasov > Fagaras > Sighisoara > Targu Mures	264.5 km
Ploiesti > Buzau > Focsani > Albita	288.0 km
Targu Mures > Iasi > Ungheni	310.0 km
Targu Mures > Campia Turzii	36.0 km
Gilau > Mihailesti > Suplacu de Barcau	100.0 km
Jucu > Dej > Bistrita	75.0 km

（出所）高速道路国道公社（CNADNR）資料、運輸・社会基盤省資料、各種報道記事、  
 実走調査の結果を基にジェトロ作成

アンケート返送先 FAX : 03-3587-2485

e-mail : ORD@jetro. go. jp

日本貿易振興機構 海外調査部 欧州ロシア CIS 課宛

● ジェトロアンケート ●

調査タイトル：進展するルーマニアの道路インフラ整備

ジェトロでは、進展するルーマニアの道路インフラ整備を目的に本調査を実施いたしました。報告書をお読みいただいた後、是非アンケートにご協力をお願い致します。今後の調査テーマ選定などの参考にさせていただきます。

■質問1：今回、本報告書で提供させていただきました「進展するルーマニアの道路インフラ整備」について、どのように思われましたでしょうか？

(○をひとつ)

4：役に立った 3：まあ役に立った 2：あまり役に立たなかった 1：役に立たなかった

■質問2：①使用用途、②上記のように判断された理由、③その他、本報告書に関するご感想をご記入下さい。

--

■質問3：今後のジェトロの調査テーマについてご希望等がございましたら、ご記入願います。

--

■お客様の会社名等をご記入ください。(任意記入)

ご所属	<input type="checkbox"/> 企業・団体	会社・団体名
		部署名
	<input type="checkbox"/> 個人	お名前

※ご提供頂いたお客様の個人情報については、ジェトロ個人情報保護方針 (<http://www.jetro.go.jp/privacy/>) に基づき、適正に管理運用させていただきます。また、上記のアンケートにご記載いただいた内容については、ジェトロの事業活動の評価及び業務改善、事業フォローアップのために利用いたします。

～ご協力有難うございました～